

はじめに

今回はオーボエを始めたばかりの方や、周りにオーボエを教えてくれる人がいなくて困っている方などへ向けて技術的な解決・練習方法を簡単にアドバイスしていきたいと思います。まずどの曲にも共通ですが、音程・連符・スラーがうまくいかない時に演奏しやすい運指を選ぶことで改善できることもあります。そのために、E $\flat$  = D $\sharp$ とFの替え指をスラスラ使えるようにしましょう。以下のことに気をつけて、B $\flat$ ・E $\flat$ ・A $\flat$ -durのスケール練習を日々取り入れてみて下さい。B $\flat$ ・E $\flat$ -dur → E $\flat$  ↔ Fこの時のFは左小指Fキー（ついていない楽器もあります）あるいはフォークF（右手薬指はFキーではなくDキーを押し、中指を開ける運指）A $\flat$ -dur → D $\flat$  ↔ E $\flat$  ↔ Fで替え指が必要、D $\flat$  = 右小指、E $\flat$  = 左小指、F = フォークFを使用する。また、ハーフホール（左手人差し指を半分開けてオクターブ上げる運指）についても注意が必要です。動かすときに人差し指がキーから離れないように気をつけましょう。指が浮いてしまうとスラーで演奏するときに雑音が入ってしまいます。

## I 行進曲「煌めきの朝」

作曲：牧野圭吾

・冒頭と【L】以降の連符とトリルの繰り返しはゆっくりから練習しましょう。替え指の確認、トリルの運指の確認をして下さい。7・87小節目のトリルから連符に入る時の動き出しに気をつけて下さい。【H】・【J】のメロディが滑らかに歌えるように運指に気をつけて練習しましょう。

・連符や練習番号【H】以降でD $\flat$  → E $\flat$ の替え指を使用するので、A $\flat$ -durのスケールを日々の練習に取り入れて下さい。117～118・149～150小節目の運指は、118・150小節目のE $\flat$ を最初右E $\flat$ で取り、伸ばしている間に左E $\flat$ に指替えしてD $\flat$ に移りましょう。A $\flat$  → E $\flat$ （右・左） → D $\flat$ の順に動かすと滑らかに吹けるでしょう。1小節目Cトリルは右中指のトリルキー、5小節目A $\flat$ トリルはA $\flat$ の運指で左中指だけ動かすと良いでしょう。

## II ポロネーズとアリア ～吹奏楽のために～

作曲：宮下 秀樹

・練習番号【B】・【C】・【D】のメロディのアーティキュレーションに気をつけて吹き分けができるようにしましょう。【B】と【D】は同じ音が並んでいますが、【B】のスラー多めのメロディに対し、【D】はアクセントやタンギングがあります。きちんと吹き分けることで曲のニュアンスも変化すると思いますので曖昧にならないようにしましょう。

・この曲には各所に半音の動きが出て来ますので、半音階を練習しましょう。下のDから2オクターブ分できると良いと思います。ゆっくりと音程を確認しながらテンポを速くして、指がスムーズに動くようにしましょう。練習番号【F】・【L】は音程がきちんと取れることが大切です。【K】の連符は速く動かせるように繰り返し練習しましょう。

### Ⅲ レトロ

作曲：天野正道

・ポップスはニュアンスが大切です。テンポが速いですがアーティキュレーションをはっきりと吹き分けられるようにしましょう。（特に【G】以降）

・練習番号【D】のsoloは音域的には難しくありませんが、スラーで滑らかに吹けるように指の動きに気をつけて練習しましょう。（C→D→Cや E♭→D♭→C）

・半音階、A♭・D♭-dur、f・b♭-mollなど練習しましょう。（D♭→E♭→Fの替え指が必要）この曲はテンポが速く、音の並びも難しいので♭の多い音階がスラスラ吹けるようになると良いでしょう。音階練習は色々なアーティキュレーションで練習してみてください。また、タンギングはダブルタンギングができるように練習しましょう。

・グリッサンドは音階か半音階で4～5音入れれば良いと思います。

### Ⅳ マーチ「ペガサスの夢」

作曲：水口透

・8分の6拍子のマーチなのでリズムに気をつけて転ばないように演奏しましょう。

・練習番号【C】・【D】・【I】・【J】の十六分音符スラーからの八分音符タンギングは初心者には難しいかもしれません。きちんとタンギングが入るようにゆっくりから練習しましょう。

・練習番号【C】・【D】などの半音の音程と跳躍して上がった音の音程を確認しましょう。

・8分の6拍子のリズム練習を取り入れましょう。

・半音の音程が良くなるように半音階をゆっくり音程確認しながら練習しましょう。

・A♭-durも練習しましょう。D♭→E♭の替え指が必要です。（149小節目）

・練習番号【I】のトリルはF音トリルは右手人差し指を動かす、E♭音トリルは右手中指だけ動かす、D音トリルは右手薬指だけ動かす、C音トリルは右手中指のトリルキーを使用しましょう。